



生長の家山梨県教化部は2007年6月21日にISO14001の認証を取得し、地球環境保全に取り組んでいます。



〒406-0032
笛吹市石和町四日市場1592-3
宗教法人「生長の家
山梨県教化部」
TEL 055-262-9601
FAX 055-262-9605
発行人：田中 尚
編集：編集委員会
E-mail sni-yamanashi@nifty.com
ホームページ <https://sni-yamanashi.org/>

今月は、生長の家総裁・谷口雅宣先生のご文章を掲載しているため、PDF版の『甲斐の光』には掲載することができません。

春季青少年 一日見真会



とき 2026年3月26日(木)
10:00~15:30(予定)
ところ 山梨県立科学館

対象 小学生、中学生、高校生
(未就学児のお子様も大歓迎です!)

※詳しくはチラシを参照して
ください。皆様のご参加を心より
お待ちしております!

白鳩会

「熟年の皆様に感謝の
プレゼントを」
熟年世代担当

白鳩会山梨教区連合会では、令和5年より「今まで生長の家の為に長い間、貢献してくださった熟年の方々に感謝の気持ちを伝えましょう!!」と、母の日(5月)と敬老の日(9月)に合わせて感謝のプレゼント(手作り)を差し上げて、12月には感謝のハガキを送り、年に3回実践させていただいています。



くださり、プレゼントと感謝の思いを届けてくださいました。その時の喜びの声を紹介させていただきます。

◇西部第二地区 白根支部

令和7年4月25日
N・Eさん(93歳) E・Aさん(92歳) お二人に、母の日にウクライナカラーの素敵な「ディッシュケース」と総本山の「おみくじ」を渡しました。「おみくじ」が自分の心境にぴったりで、とても喜んでくださいました。お二人合わせて年齢185歳、毎月の誌友会を開くことが何より楽しみだそうです。

◇甲府第一地区 塩山支部

令和7年9月13日
H・KさんとK・Tさんに「敬老の日感謝の

プレゼント」として、カラージュ文字の色紙をお渡ししました。お二人共、色紙のカラージュ文字の色彩の美しさに目をキラキラさせて、白鳩会連合会から贈られた色紙に、「有り難いことです」と深く合掌されていました。

その帰りにT・Mさん宅を家庭訪問しました。プレゼントをお渡しすると、「今100歳ですが、デイサービスに行っても元気なので、誰も私のことを100歳と信じてくれないんですよ(笑)」と益々明るい笑顔のT・Mさんでした。家庭訪問させていただき、熟年パワーをいただいで感謝でいっぱいです。

H・Kさん(100歳)、T・Mさん(101歳)、K・Tさん(84歳)の3人合わせると285歳です。いつも塩山支部のお世話をしてくださっているS・Y支部長の4人で塩山支部誌友会を開かれていて素晴らしいです。

◇西部第一地区 昭和支部

令和7年9月18日
M・Yさん宅に家庭訪問し、「敬老の日感謝のプレゼント」のコー

ラージュ文字色紙を渡しました。「色紙の文字がチラシで出来ています」とお伝えすると、「えー、チラシがこんなに綺麗な文字になるんだね、いつも手作り心をかけてくれて、私達のことを思ってくれて嬉しいですよ」と喜んでくださいました。家庭訪問させていただいた私達も嬉しくなりました。

その他の地区の熟年の皆様からも喜びの声が届いています。

12月は、感謝の言葉をハガキに書き、年内中に届くように送らせていただいています。「熟年の皆様のことを大切に思う心が届きますように」と願っております。

相愛会

「フェスタの主役はあなたです！」
相愛会教区連合会長

合掌、ありがとうございます。生長の家では、『自然の恵みフェスタ』を毎年開催することが決まられており、二〇二六年も山梨教区では、

十月に開催が予定されています。私は、この行事が一年の信仰生活を表現する重要な一日になると考えています。

相愛会のこの行事への目標は、次の通りです。「自然の恵みフェスタ二〇二六で、一年の成果を自慢できる自分になる！」

この行事自体は、一年のうちで一回のみ、一日限りのイベントです。しかし、この行事が成功するかどうかは、会員・信徒のみならず、お一人お一人の日常生活にかかっています。どうかというところでしようか?

それは、日々の信仰生活から生み出されたものを教区単位で集めると、『自然の恵みフェスタ』になるといいます。具体的に説明します。「生み出されたもの」とは、倫理的な衣食住の工夫であり、成果です。

食の分野では、ノーマイト料理、一汁一飯、フードバンク山梨への寄付やボランティア活動。

また、ゴミ拾いや地域清掃、自転車、クリーンエネルギー利用のC

〇2削減の工夫。クラフト制作や俳句・音楽などの技能および芸術的な表現活動など。自宅において、一人でも手軽に実践でき、仲間と共に地域や外部に働きかけることにより、地球社会貢献にまで活動を拡大することが出来ます。

そのような日々の積み重ねを、個人が楽しみながら実践し、教区単位で成果を集結することによって、『自然の恵みフェスタ』は、参加者の心を動かすエネルギーとなり、質の高い宗教行事へと展開していくことになると考えます。

このような、倫理的なライフスタイルへの転換は、全てが一体の世界観である神への信仰を持った人でないと実践できません。

現代的な信仰生活を結集し、参加する人々に宗教的な影響を与えるイベントが『自然の恵みフェスタ』。

この行事の主役は、あなたです!教区全員で感動的な行事を作り上げていきましょう。

再拝

「立教97年 生長の家春季記念日・生長の家総裁法燈継承記念式典」

日 程： 3月1日(日) 9:40接続開始、10:00式典開始

(会場：生長の家“森の中のオフィス”)

お言葉：生長の家総裁・谷口雅宣先生

教区役職者に対する感謝状：2名

聖使命会費取扱者10年顕彰者：4名

立教97年、生長の家総裁法燈継承記念を視聴参列してお祝いしましょう！

「神・自然・人間の大調和祈念祭」

3月11日(水) 9:30接続開始、10:00開式

お言葉：生長の家総裁・谷口雅宣先生

持ち物：『大自然讃歌』

＜ 3/1、3/11はインターネットを通じてライブ配信されます。
ぜひ 視聴参列してください！ ＞

①録音、録画、撮影、SNS等を通しての再配信は禁止されています。

②インターネットで「生長の家 公式サイト」から接続してください。
(一般公開)

③当日、教化部は休館です。

神・自然・人間を詠む「大調和俳句賞」

【テーマ】春の季語を使用し、神・自然・人間を詠む

【応募資格】聖使命会員であること

【応募条件】自作の未発表作品、1人1句

締切：2026年2月26日

表彰：2026年3月11日の「神・自然・人間の
大調和祈念祭」において発表

俳句について 未発表句に限ります。

(その他、詳細は生長の家公式HPをご参照ください。)

応募はこちら → <https://www.jp.seicho-no-ie.org/lp/haiku2026/>



「生活の記録表」の提出をお願いいたします！(問合せは、教化部または組織の事務局へ)